

平成 29 年度  
第 2 回北杜市芸術文化スポーツ振興基金活用検討委員会

日 時 平成 29 年 12 月 22 日（金） 午前 10 時～午前 11 時 15 分

場 所 北杜市役所 西会議室

出席者	協力金寄附者（サントリー株式会社）	枝木秀行
	地域団体代表者（地域委員会代表）	浅川修一
	スポーツ団体代表者（体育協会代表）	浅川幸彦
	文化団体代表者（文化協会代表）	林義夫
	学識経験者（芸術関係学識者）	中澤明子
	学識経験者（芸術関係学識者）	萩原英二
	市長が認める者（教育長）	堀内正基

欠席者	地域団体代表者（代表区長会代表）	小林隆次
	学識経験者（芸術関係学識者）	船木良
	市長が認める者（教育部長）	井出良司

事務局	生涯学習課長	小尾正人
	生涯学習課社会教育担当リーダー	平井伸一
	生涯学習課社会教育担当	高柳直哉

議事 (1) 平成 29 年度の基金活用事業の検証について  
(2) 平成 30 年度の基金活用事業の方針（案）について  
(3) その他

公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし

1. 開会

2. 委員長あいさつ（中澤委員長）

3. 教育長あいさつ（堀内教育長）

4. 議事

（事務局） 北杜市芸術文化スポーツ振興基金活用検討委員会設置要綱第 6 条第 1 項の規定により、委員長が議長となることとなっていますので進行をお願いします。

（議 長） 第 1 号議案「平成 29 年度の基金活用事業の検証について」を事務局からの説明を求めます。

（事務局） 資料「芸術文化スポーツ振興基金活用事業実績一覧表」を説明する。また、参加した感想文（抜粋）についても説明する。委員の皆様から事業の検証をお願いする。

（議 長） 質問等ありますか。

（委 員） 民間団体ナンバー 3 の参加者にはリピーターが多いと聞いたが、全体の参加者に対する割合は。ナンバー 4 の参加者の半数は市外の方であるが市町村別の把握はしているか。清里フィールドバレエの選考方法について聞きたい。

- (事務局) ナンバー3の事業について、リピーターはいますが具体的な人数までは把握していません。ナンバー4の事業の県外及び市外の人数の把握はしていないが、実施日が夏休み中でありまして市外はもちろん県外の方も参加しています。清里フィールドバレエについては希望者全員に鑑賞してもらいました。
- (議長) ナンバー4の事業に参加しました、移住してきた方や市外の方が多かったと思います。清里フィールドバレエは孫と一緒に参加しました、これをきっかけにバレエを習っています。
- (委員) 昔から住み続けている市民の方は少なかったと思います、地域委員会及び区長会を通じてPRしてみてもどうか。
- (事務局) ナンバー13の事業について副市長も参加しましたが市内小中学校にも積極的に参加してもらいたい旨話をされてきました。  
かけっこ教室については実績参加人数が少ないですが3回のうち2回は悪天候等で中止となってしまいました、応募人数は180人程ありました。
- (議長) 佐藤しのぶコンサート及び自衛隊コンサートには多くの小中学生が参加していますが応募方法は。
- (事務局) 佐藤しのぶコンサートは学校を指定し参加してもらっています、自衛隊コンサートについては一般の方も参加でき、応募は約2倍あり抽選を行いました。
- (委員) ナンバー11の事業に参加しました、コーラスグループの発表を見てきました、とてもよい雰囲気の中で行われ感動のうちに終了しました。
- (委員) 基金事業は何年目ですか
- (事務局) 平成20年度に制定し、平成21年度から事業を実施しています。
- (委員) 前市長が一流に触れる機会を創出するため始めたものと認識しています。特に清里フィールドバレエについては、すばらしいもので都会の方々も一流を見たいと言って見に来ています。また、元プロ野球選手に指導してもらえる機会を通じ、高校野球山梨代表として出場すれば、それはとても価値があると思います。前市長から現市長に代わり、再度市としての方向性を検討すべきであると思います。参加人数で評価しない方がよい、今後民間団体からの申請は多くなると思います、どれが一流でどれが一流でないとの判断が難しくなる。
- (議長) 私も何年も委員として関わっていますが、過去にも同様な意見がありました、民間団体の方々も一生懸命に取り組んでいますので不採択しにくい。また、今後も申請の数も増えると思われる、過去、清里フィールドバレエは取り扱いを補助金交付から市でチケットを買い、小中学生に配布することにしました。また、営業として成り立っている事業は遠慮していただいた経過があります。
- (委員) 様々な事業に参加している年代は50代から70代が多い、ある程度ターゲットを絞る必要があると思います。もちろん子どもたちをターゲットにして、将来各種芸術・スポーツ界で活躍してもらおうという趣旨もありだと思います。

- (議長) 過去に比べると申請団体が増え、一生懸命に事業を実施していると不採択できず苦勞している、その結果一団体への補助金額が少なくなる。補助はある程度の金額を支援しなければと考えます。
- (委員) かけっこ教室は体育協会も関わっていますが陸上部は存続していますか。
- (委員) 県体育祭や市駅伝競走に携わっていますし存続しています。
- (議長) 学校芸術体験事業について学校を順番で回しているのですか。
- (事務局) その通りです。また、学校独自の芸術体験事業の内容と重複しないよう配慮もしています。  
元々田舎の地域に芸術文化に携わる方がとても少ない中、一流に触れる機会を創出しようと前市長が取り組んできました。現市長もその思いは変わらないです。回数を重ねて歴史を創ることも大事ですが、方向性を決めることも大事です。申請者も強い思いを持って事業申請をするため事務局的にもなかなか難しい。検討する際、委員の皆様の意見を加え回答できればと思います。
- (委員) 北杜市に対して意図する事、ターゲットは60代、ターゲットは小中学生などのコメントを申請時に提出してもらいたいと思います。
- (議長) 北杜市の芸術文化スポーツ振興基金事業は、他市町から見てもとても特色あるものです、今回少し検討方法など改善できればと思います  
他になれば第2号議案「平成30年度活用事業の方針(案)について」に移ります。事務局からの説明を求めます。
- (事務局) 資料「芸術文化スポーツ振興基金活用事業の方針(案)」に基に説明する。
- (議長) 平成30年度野球教室は実施しないのですか。
- (事務局) 3年間を目途に実施してきましたので、来年度は計画していません。
- (委員) 八ヶ岳スケートセンターの存続が問題となっています、存続のためにもスケート事業は続けてもらいたい。
- (事務局) 一般財源を充当したスケート教室等を実施する予定です。野球教室も区切りとしましたが160人程応募のある人気事業です、将来に向け検討します。また、野球以外にも多くのスポーツがありますので、バスケットボール等計画しました。新しく小学生を対象とした日本体育大学の講師による体操教室や駅伝交流教室も計画しました、平成30年1月には日本体育大学と事業連携を締結し進めていくことになっています。
- (委員) 各事業の周知方法を検討すれば多くの市民の参加が見込めると思います。
- (委員) 区長会、地域委員会の代表の方は5月に改選があり委員となっただけいるが4月の1回目検討委員会には出席できない。日程的に変更は可能か。
- (事務局) 民間団体への採択・補助金決定通知は、5月に実施する事業もあるため4月に行っている、検討委員会を5月に開催するのは難しい。区長会及び地域委員会担当部署にそれぞれの会議を4月に開催可能か確認します。

(議 長) 他に意見等なければ、第3号議案「その他」に移ります。事務局及び委員の皆様、提案事項等ありますか。

(事務局) ありません。

(議 長) 議事を終了します。ご審議ありがとうございました。

5. 閉会 (萩原副委員長)

終了時間：午前11時15分